

CUV e:

CUV e:

製品説明書



写真：CUV e:

※写真は海外仕様車です。国内仕様車にはリアキャリアと原付二種の識別標識が装着されます。

Hondaは、『存在を期待される企業』であり続けるために『2050年カーボンニュートラルの実現』を重要課題として掲げ、その実現に向けた取り組みの一つとして二輪車の電動化を推進しています。

1994年、環境負荷低減を目指し国内でいち早く電動二輪車「CUV-ES」を官公庁や地方自治体などにリース販売を実施。以降、2009年の「EV-neo」、2018年の「PCX ELECTRIC」と、継続的に電動二輪車の開発とリース販売を行ってきました。

2019年には、法人企業向けとなるビジネス用電動二輪車「BENLY e:」を皮切りに、2021年にビジネス用電動三輪スクーター「GYRO e:」と、屋根付き電動三輪スクーター「GYRO CANOPY e:」を発表し、『Honda e: ビジネスバイクシリーズ』をラインアップいたしました。

ビジネス領域から二輪車の電動化にチャレンジし、着実に電動二輪車の普及を進めながら、2023年にはHondaとして国内初となる、一般のお客様向け電動二輪車「EM1 e:」を発売いたしました。

そして、2025年3月、人々の生活に寄り添ったモビリティとして世界各地で活躍しているICE※搭載車110ccクラスに相当する、原付二種の電動二輪パーソナルコンピューター「CUV e:」を発表いたしました。

このようにHondaは、電動二輪車普及に向けた取り組みを加速させ、カーボンニュートラルの実現と、静かでクリーンな生活環境の提供に寄与してまいります。

※ インターナル・コンパッション・エンジンの略=内燃機関。

■Honda電動二輪車の歴史

官公庁や自治体、企業・個人事業主向けモデル



個人のお客様向けモデル



電動二輪車への取り組みは、1994年に発表したCUV-ESの開発からスタートしました。このCUV-ESは、都市部での使用など比較的短距離での移動に適した原付スクーターの特性や、手軽で軽量かつ機動性が良く、省スペース性に優れたシティ通勤用としての特性を活かした、排気ガスを出さないクリーンで静かなモビリティとして開発されました。CUV-ESのネーミングは、**C**lean **U**rban **V**ehicle **E**lectric **S**cooterの頭文字から名付けています。

今回、開発したCUV e: は、CUV-ESと同じシティ通勤用コンセプトとして開発され、多くの方の街中での快適な移動を実現する電動スクーターであることに加え、Hondaの二輪車開発の知見が詰まったモデルであることから、**C**lean **U**rban **V**ehicle e: = CUV e: と名付けました。

■1994 CUV-ES



■2025 CUV e:



Honda は、2050年にHonda が関わる全ての製品と企業活動を通じて、カーボンニュートラルを実現することを目指しています。二輪領域では2040年代に全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを目標に、二輪車の電動化を環境戦略の主軸として進めています。そしてこの度、電動二輪車でも世界中のお客様のニーズにお応えし、新たな価値を提供していくための取り組みの一つとして、世界的な最量販クラスである110cc相当のパーソナル向け電動スクーター CUV e: を開発しました。

ひと目でEVとわかる先進的なスタイリング

- ・コンパクトで軽快なプロポーション
- ・シンプルでクリーンなイメージの外観デザイン
- ・先進性とともにアイコンニックな表情を演出するLED灯火器

お客様の生活に寄り添う先進のEVシステム

- ・Honda Mobile Power Pack e: を活用した96V EVシステム
- ・力強さと扱いやすさの両立を図った新設計モーター
- ・生活シーンやお客様の好みに合わせた走行モード

Honda独自のコネクテッド機能 Honda RoadSync Duo®

- ・車両のバッテリー残量に応じた提案型ナビゲーション
- ・シンプルで直感的なユーザーインターフェイス
- ・充実のインフォテインメント機能

扱いやすい車体パッケージング、仕様装備

- ・ICEモデルで培った扱いやすい車体パッケージング
- ・面積の広いフラットフロア、2人乗車でも余裕のあるシートポジション
- ・USB Type-Cソケット付きインナーボックス

■CUV e:



※写真は海外仕様車です。国内仕様車にはリアキャリアと原付二種の識別標識が装着されます。

■CUV e:



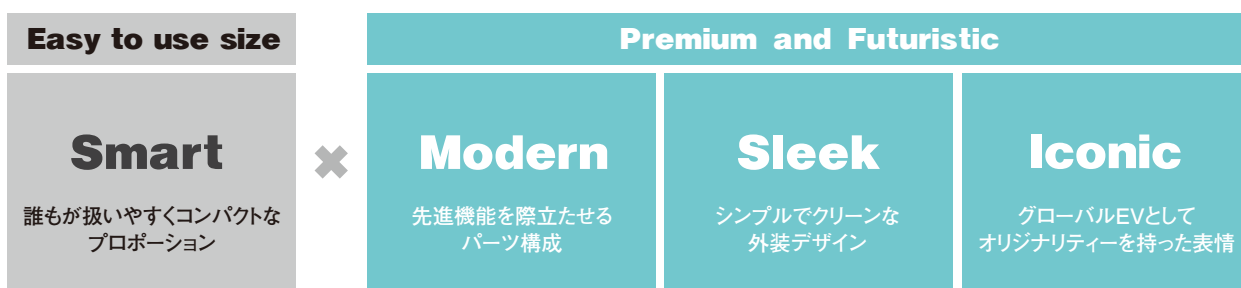
スタイリングコンセプトは

Simplicity and Emotion

表現が明確で要点をおさえている

人の感情を揺り動かす

とし、シンプルな美しさが生む印象的なスタイリングを目指しました。



■イメージスケッチ

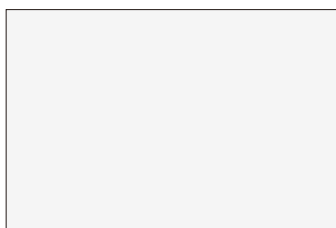


カラーリングコンセプトは

Modern Serenity

現代的で洗練された佇まいを表現する

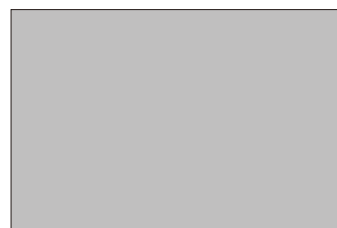
とし、シンプルかつ落ち着いたカラーで、スタイリングを際立たせ、電動ならではのプレミアムで未来的な雰囲気を演出するカラーラインアップとしています。



Warm / Natural



Simple / Chic



Futuristic / Clean



■パールジュビリーホワイト



■マットガンパウダーブラックメタリック



■プレミアムシルバーメタリック

●動力源

動力源には、着脱可能なHonda Mobile Power Pack e:を採用しました。1個の重さは約10kgで、持ちやすいハンドル形状と重心設定で無理なく運ぶことができます。自宅で充電したり、街中のバッテリーステーション*1で充電済みバッテリーと交換するなど、使い勝手に合わせてフレキシブルに充電手段を選択することができます。

CUV e:では、完成車のサイズや重量、出力と航続距離のバランスを考慮し、Honda Mobile Power Pack e:を2個搭載した96VのEVシステムを採用しました。これにより、フル充電された状態での航続距離は57km*2を実現しています。

*1 バッテリー交換ステーションは、限られたエリアに設置しています。ご利用の際はサービス事業者とお客様との直接契約となります。ご利用料金はおお客様のご負担となります。

*2 60km/h定地走行テスト値(1名乗車時)。国土交通省届出値。一充電走行距離は、定められた試験条件のもとでの値です。実際の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。一充電走行距離は、車速一定で走行した実測にもとづいた値です。

●モーター

Honda独自の新開発モーターは、定格出力0.98kW、最大出力6.0kWを実現。磁気回路と構造の最適化により高効率化を図ることで、航続距離向上に寄与しています。このモーターをアルミ製のパワーユニットケースに搭載した電動パワーユニットは、四輪車が中心の幹線道路などにおいても十分な加速性能を追求しました。

●パワーコントロールユニット(PCU)

構造を最適化することによって軽量化を図り、航続距離の向上や車両の運動性能向上に寄与しています。

■EVシステム主要部品配置(イメージCG)



●ライディングモード

さまざまな走行シチュエーションやお客様の好みに応じて、3つのライディングモードから選択が可能です。いずれのモードもスロットル操作に応じた適切な出力特性を与えることで、1台の中に異なる3種類のキャラクターを実現しています。各モードはハンドル右側のスイッチを操作することで切り替えることができ、設定中のモードはメーターの表示で確認ができます。

【STANDARDモード】

安心して扱える出力特性で、出力と航続距離のバランスを取ったモード。

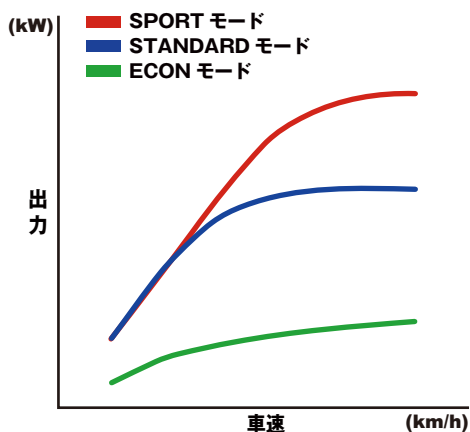
【SPORTモード】

EVならではのより力強い加速とスロットルレスポンスの良さを体感できる、最もパワフルなモード。

【ECONモード】

モーターの出力を抑え、他のモードよりも航続距離を伸ばすことができるモード。

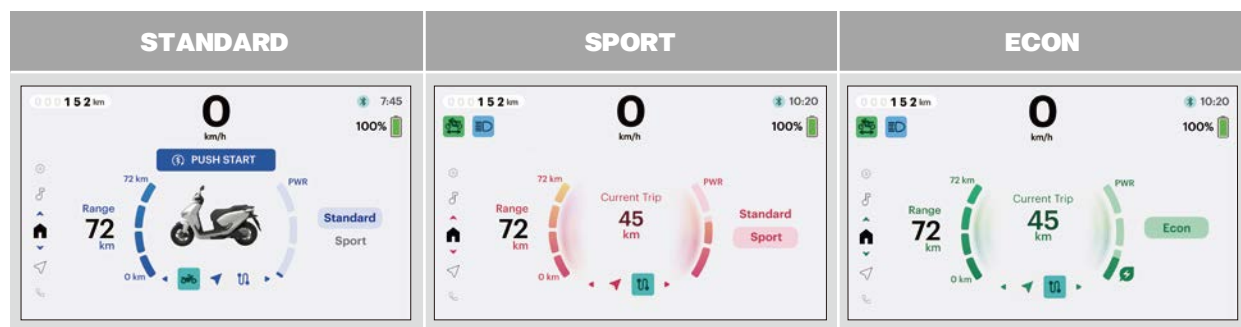
■モード別出力イメージ(発進加速時)



●リバースモード

後進をモーターでアシストする機能を追加し、狭い場所や傾斜地での切り返しなどで、ライダーの負担軽減に寄与します。リバースモードはハンドル右側のモータースタート/リバーススイッチとハンドル左側の“メニューを下げる”スイッチを同時に押すことで作動します。

■メーター画面イメージ



■ハンドルスイッチ(イメージCG)



●作動概要

直列に接続された2個のHonda Mobile Power Pack e: から供給される96V系の電力は、PCUで三相交流に変換されてモーターに供給されます。ライダーのスロットル操作はグリップアクセルポジションセンサー (APS) により検知され、PCUを介して状況に応じた最適な出力でモーターを駆動させます。リバースモードでは、ライダーのスイッチ操作をPCUが検知することでモーターを通常走行時とは逆側に回転させます。

また、Honda Mobile Power Pack e: とは別に一般的な二輪車と同じ12Vのバッテリーも搭載しています。

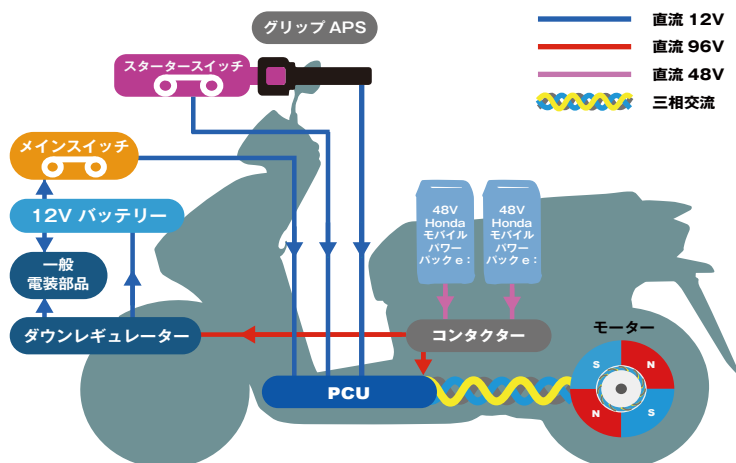
Honda Mobile Power Pack e: から供給される96V系の電力はダウンレギュレーターによって12V系へと降圧され、EVシステム以外のヘッドライト、テールランプ、12Vバッテリーなどの一般電装部品へも電力を供給します。高電圧が発生するユニットは、鋼板製フレームボディとパワーユニットケース、バッテリーボックスなどの構造部品によって外部からの衝撃を緩和することで、信頼性を高めています。

●Honda Mobile Power Pack e: 着脱機構

直感的な操作一つで簡単にバッテリーの着脱を可能とし、車両側コネクタとの結合も確実に行うことができます。ハンドルを操作することでバッテリーホルダーが作動し、バッテリーの固定・解除を行います。同時にコネクティングプレートを通じて車両側コネクタも上下に作動し、安定した端子接続を可能としています。

また、シートを閉じた状態ではシート裏のリブでハンドルを押さえることで確実にロックできる構造とし、ハンドルロック用の別部品を無くすことでより容易にバッテリーの着脱操作を可能としています。

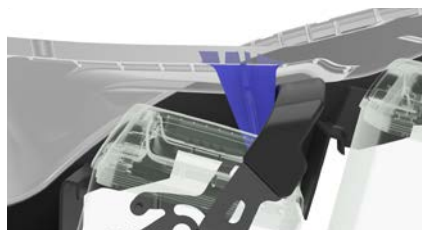
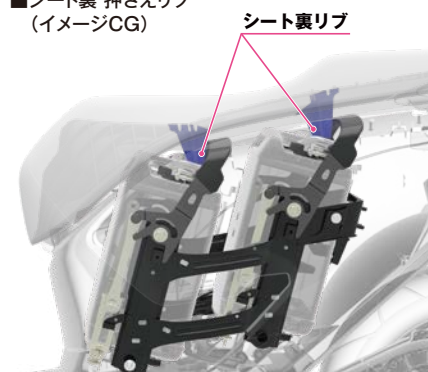
■EVシステム作動概要イメージ



■Honda Mobile Power Pack e: 着脱機構 (イメージCG)



■シート裏 押さえリブ (イメージCG)



パワーユニットはマスの集中化とコンパクト化を達成するために、モーターと減速機をリアホイールの横に配置するユニットスイングタイプとしました。

Honda独自の新開発モーターと相まって、同クラスであるBENLY e: II (原付二種) のパワーユニットに対して幅方向の小型化と約10%の軽量化を達成しました。

■パワーユニット(イメージCG)



■パワーユニット 構成(イメージCG)

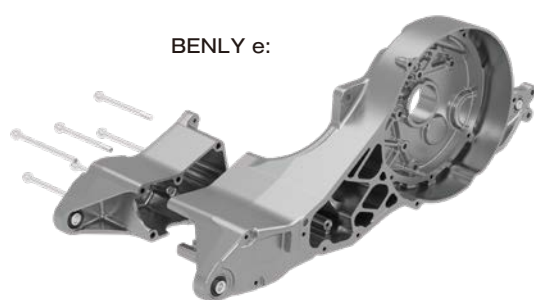


●パワーユニットケース

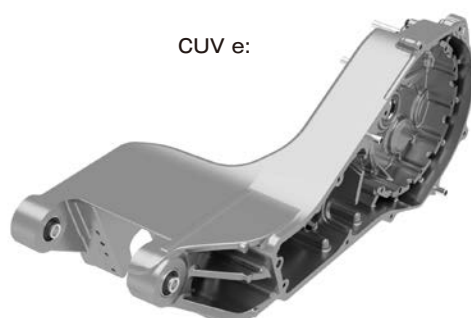
モーターと減速機を保持するパワーユニットケースはアルミダイキャスト製とし、BENLY e: の2部品構成に対し金型の構造を工夫することで一体構造としました。

また、部品点数の削減だけでなく剛性と強度を最適化することによって、より優れた運動性能に寄与しています。

■パワーユニットケース比較(イメージCG)



BENLY e:



CUV e:

●駆動系

一般公道で安心して走行するために十分な登坂性能と力強い発進、動力性能を達成するギアレシオを採用しました。

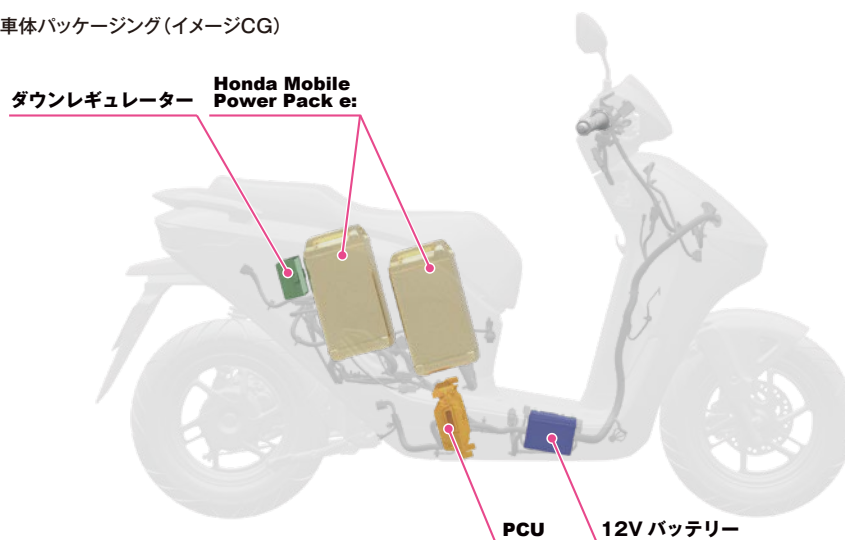
また、高い静粛性と耐久性を有するギアを採用。ミッションケースの締結ボルトを左右に分割して配置することで、モーターを分解することなくケースを外すことを可能にし、ミッションギアの整備性を高めています。

●車体パッケージング

主要なEVコンポーネントを効率よく配置することで、Honda Mobile Power Pack e: を2個搭載しながらも世界中で受け入れられている同クラスのICE搭載車と同等のコンパクトなパッケージングを実現しました。

また、重量物の配置を車体の重心付近に集中させることで、より扱いやすい車体パッケージングに寄与しています。

■車体パッケージング(イメージCG)

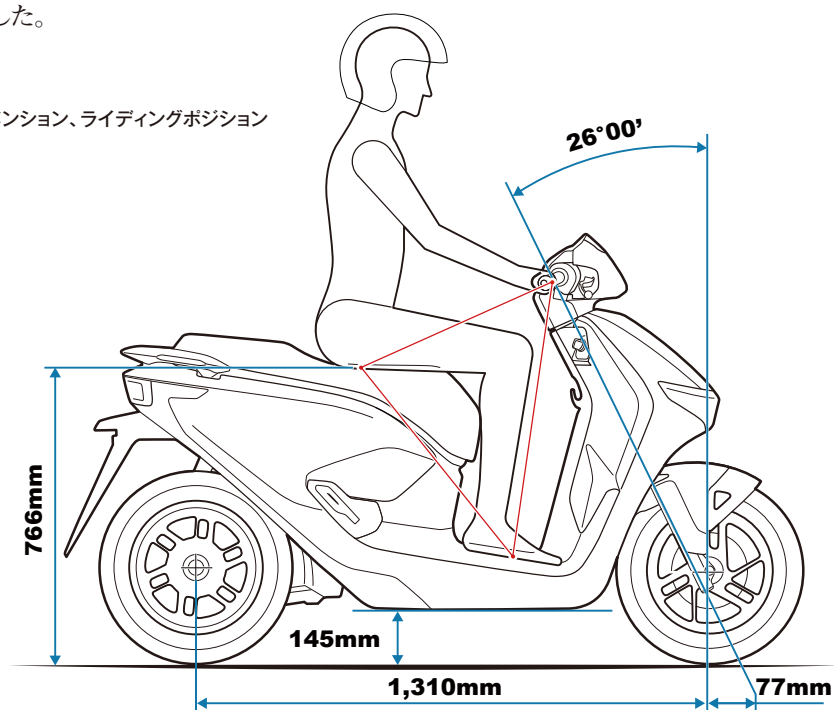


●ディメンション、ライディングポジション

街中での使用を想定して、だれもが気軽に扱えるディメンションとし、安定感と軽快なハンドリングの両立を図りました。長めのホイールベースは幹線道路で流れに乗って走行する際の安定感に寄与し、26°に設定したキャスター角は交差点の多い街中でも良好な取り回し性を備えています。余裕のあるシートスペースと前後に広いフラットフロアによって、自由度の高い快適なライディングポジションを追求しました。

シートは大人2名乗車でも余裕のあるスペースを確保し、Honda Mobile Power Pack e: の搭載角度を最適化することで高さを抑えました。

■ディメンション、ライディングポジション



●フレーム、パワーユニットハンガー

EVならではの低振動のメリットを活かし、フレームとパワーユニットはリンク機構を廃したリジッドマウントにしました。これにより車体との一体感向上や軽快でスポーティーなハンドリングに寄与しています。

また、リアフレームを角パイプとすることにより、必要な剛性を確保しながらスペース効率を向上、スリムなボディー幅の実現に寄与しています。

■フレーム、パワーユニットハンガー
(イメージCG)

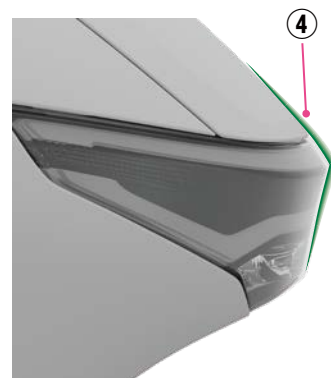
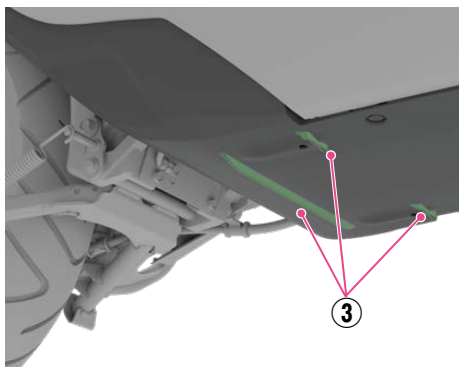
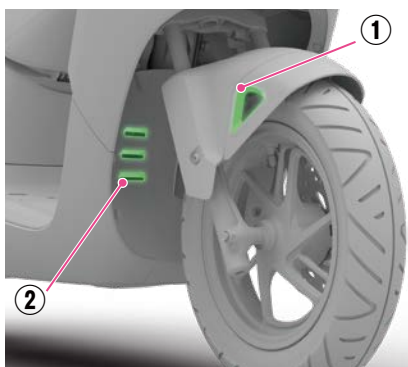


●空力性能

ICE搭載車の開発で培った空力ノウハウを活用することで、Honda Mobile Power Pack e: 搭載に伴う重量増加による運動性能の影響を抑え、ICE搭載車と同等の安定感と軽快性に寄与しています。

- ① フロントフェンダー: 圧力溜まりを無くし、軽快なハンドリングに寄与するスリット形状
- ② フロントインナーカバー: 車体前方から受ける流速の速い空気量をコントロールするスリット形状
- ③ アンダーカバー: 車体下を流れる空気のはり付きを抑えるリブ形状
- ④ ヘッドライト: 直進時と旋回時の安定感に寄与するスラント形状

■空力性能に配慮した部位 (イメージCG)



●運動性能

車体パッケージングと各部の剛性調整、EVならではの低振動によって、より上質な乗り心地を実現しています。軽快で安定感のあるハンドリング、モーターによる力強い加速、優れた静粛性・低振動と、これまでのICE搭載車と変わらない扱いやすさを高次元でバランスさせ、意のままに操れる運動性能を追求しています。

●サスペンション

フロントサスペンションはHonda Mobile Power Pack e: 搭載による、ICE搭載車に対する重心位置変化を最適化するセッティングとし、リアサスペンションはアッパーマウントの形状・剛性を最適化することでサスペンションの作動性を高めています。

●ホイール

ホイールは前後ともに12インチを採用し、安定性と良好な取り回しの最適化を図りました。

●ブレーキ

運転にゆとりを生む、Honda独自の連動ブレーキシステム「コンビブレーキ」を採用。左のレバー（後輪ブレーキ）を握ると前輪にもほどよく制動力を配分し、バランスよくブレーキングをサポートします。

フロントには制動力をコントロールしやすい $\phi 190\text{mm}$ のディスクブレーキ、リアには $\phi 130\text{mm}$ のドラムブレーキを装備しています。また、左側ブレーキレバーにはブレーキロック機構を搭載しています。

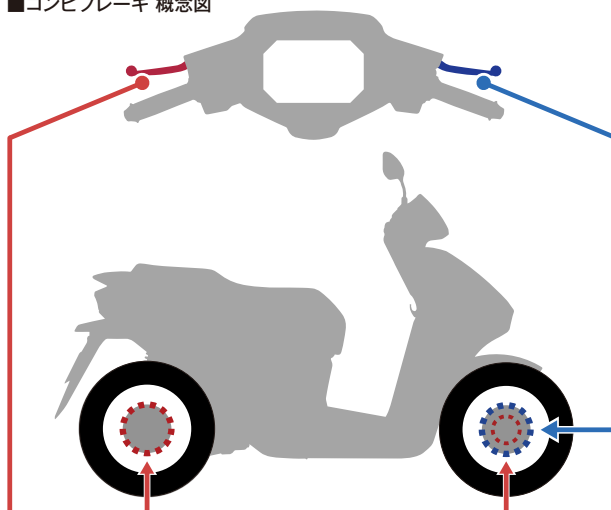
※「コンビブレーキ」はあくまでもブレーキ操作を補助するためのシステムであり、
ブレーキングの基本は左右のブレーキレバー（前・後輪ブレーキ）を同時に操作することです。

■フロントホイール、ディスクブレーキ



※写真は海外仕様車です。国内仕様車にはリアキャリアと
原付二種の識別標識が装着されます。

■コンビブレーキ 概念図



●概要

バイクとスマートフォンをBluetooth®*1で接続することで、通話やナビゲーション機能などを利用できるHonda独自のサービス、Honda RoadSync Duo®を装備しています。シンプルなユーザーインターフェイスと直感的に操作ができるハンドル左側のマルチセクションスイッチによって、さまざまな便利機能を利用することができます。また、バッテリーの状態に応じて最適なルートを提案する提案型のナビゲーション機能によって、電欠時の不安を緩和し、ライダーの安心感を高めます。Honda RoadSync Duo®は、お客様が車両を手にした後もOTA*2でのソフトウェアアップデートにより、ライダーに寄り添った体験価値を提供します。

●提案型ナビゲーション

設定した目的地までの最適なルートを提案し、Turn by Turn表示及びフルマップ表示でライダーを目的地までナビゲートします。目的地までの距離に対してバッテリー残量の不足が予想される場合は、途中でバッテリー交換ステーション*3を中継する最適なルートを自動で提案します。目的地はスマートフォンアプリ上から簡単に設定が可能で、車両に乗車する前にあらかじめルートを設定しておくことができます。

●通話*4

シンプルな操作で通話の発信・着信ができます。あらかじめアプリ上で連絡先をお気に入りに登録しておくことで、車両の操作だけで簡単に発信が可能です。

●音楽*4

直感的な操作で、スマートフォン内に保存したお気に入りの音楽を再生できます。また、再生中の音楽は、曲名やアーティスト名、アルバムジャケットなどを、メーター画面に表示できます。

※運転中のスマートフォン本体の操作はおやめください。Honda RoadSync Duo®のご利用には専用アプリのインストールが必要です。アプリごとにご利用いただけるコンテンツが異なります。Honda RoadSync Duo®の機能に関する詳細および対応OSバージョン、対応アプリについては、Honda RoadSync Duo®関連ホームページ(<https://global.honda.jp/roadsync-duo/faq/>)をご覧ください。全てのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。アプリの利用、通信にともなう通信料金はお客様のご負担となります。

*1 Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

*2 OTA (Over The Air): 無線通信を介してソフトウェアなどのアップデートを含む、車両とのデータの送受信を行う技術。

*3 バッテリー交換ステーションは、限られたエリアに設置しています。ご利用の際はサービス事業者とお客様との直接契約となります。ご利用料金はお客様のご負担となります。

*4 これらの機能の利用には、市販のバイク対応Bluetooth®ヘッドセット(別売)との接続が必要です。



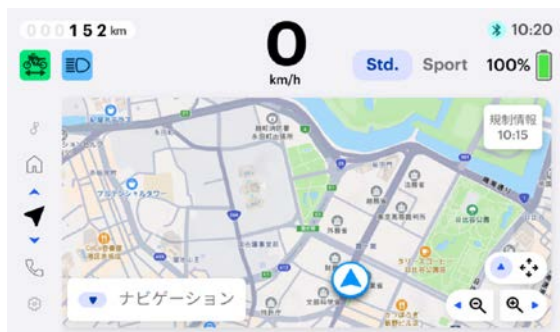
Honda
RoadSync Duo

■Honda RoadSync Duo® スマートフォン連携イメージ



■各機能 メーター画面イメージ

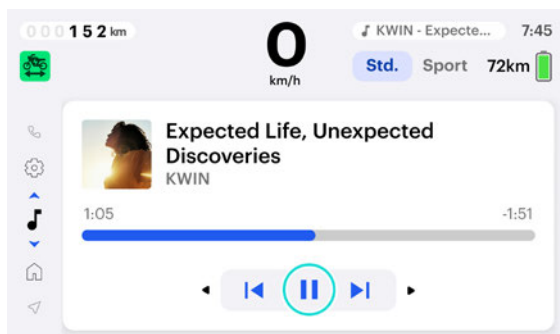
ナビゲーション (フルマップ表示)



ナビゲーション (Turn by Turn 表示)



音楽



通話 (お気に入り連絡先)



※運転中のスマートフォン本体の操作はおやめください。Honda RoadSync Duo®のご利用には専用アプリのインストールが必要です。アプリごとにご利用いただけるコンテンツが異なります。Honda RoadSync Duo®の機能に関する詳細および対応OSバージョン、対応アプリについては、Honda RoadSync Duo®関連ホームページ (<https://global.honda.jp/roadsync-duo/faq/>) をご覧ください。全てのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。アプリの利用、通信にともなう通信料金はお客様のご負担となります。

●フルLED灯火器

灯火器には、夜間走行時の安心感を高め被視認性にも貢献するLEDを採用しています。ライン状に発光するフロントポジションランプとテールランプは、EVならではのスマートさや先進性ととも、CUV e: のアイコンニックな表情を演出しています。

■フルLED灯火器

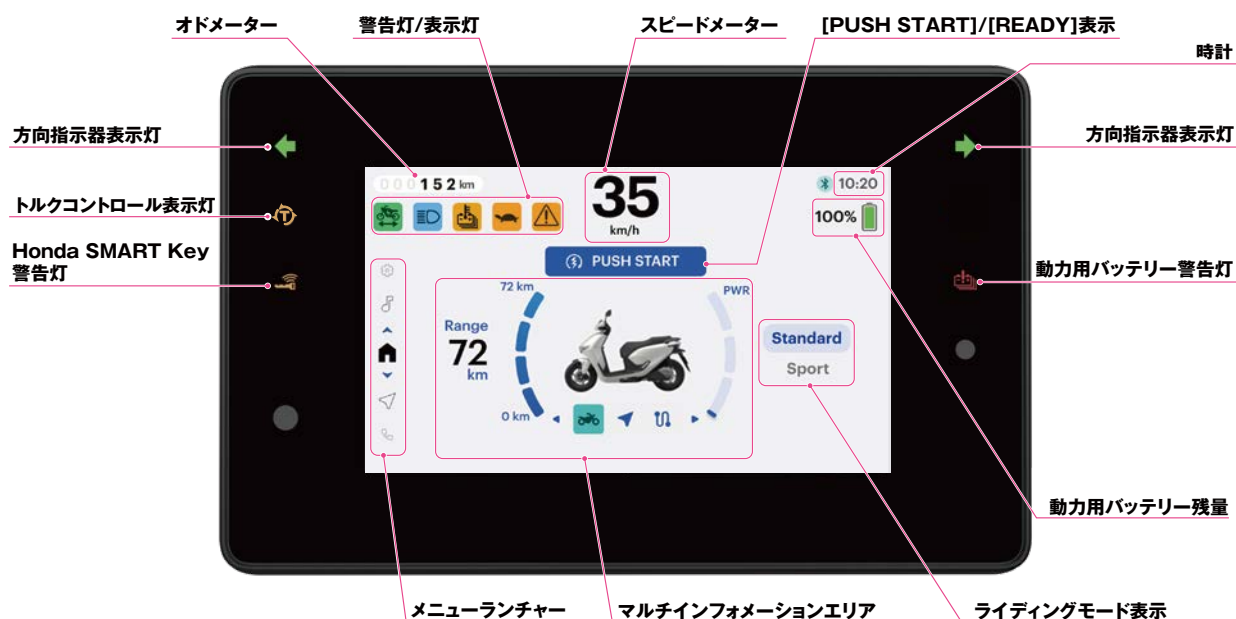


※写真は全て海外仕様車です。国内仕様車にはリアキャリアと原付二種の識別標識が装着されます。

●フルカラー液晶メーター(1)

マップ表示などのIVI (In-Vehicle Infotainment) 機能を表示可能な、7インチフルカラーTFT液晶メーターを採用しました。また、オプティカルボンディング技術を採用することで、メーターの反射を抑え視認性向上に寄与しています。メーターに表示される時刻は、車両が受信するGPSによって自動で時刻を補正します。

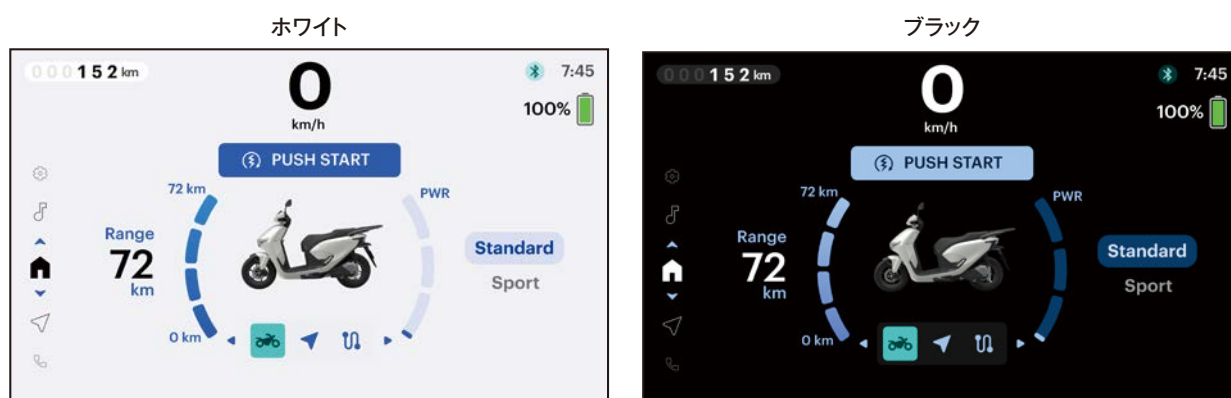
■メーター 表示例(イメージCG)



●フルカラー液晶メーター(2)

明るく見やすいTFTパネルは、走行時にも、画面からの情報を的確に認識できるように配慮しています。背景色はホワイト/ブラックから任意で設定することができ、周辺の明るさに応じて自動で背景色を切り替えるオートに設定することも可能です。

■メーター画面表示例



●アラート表示

走行に影響する車両状態をメーター画面上に分かりやすく表示します。

■アラート表示例



●グリップアクセルポジションセンサー(APS)

グリップ部にAPSを配置することでスロットルケーブルを廃止し、すっきりとしたハンドルまわりのデザインと先進性を演出しています。またEM1 e: に対し、約370gの軽量化を達成しています。

■APSシステム比較(イメージCG)



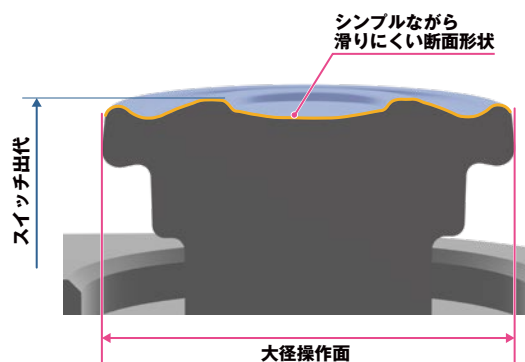
●多機能統合型スイッチモジュール(マルチセレクションスイッチ)

メーターに表示されるさまざまな機能の直感的な操作を実現するため、スイッチモジュールを新設計。Honda二輪初となるプッシュ付きのスティック型セレクトスイッチ(4-wayキー/☑スイッチ)を採用しています。セレクトスイッチは高さ方向の出代を抑えとともに、操作面の径を広げることで手のサイズを問わずに操作しやすい形状とし、シンプルな外観と操作性を両立させています。

■マルチセレクションスイッチ(イメージCG)



■4-wayキー/☑スイッチ断面形状(イメージCG)



●電装部品の軽量化

PCUのモールドレス化により、同じ96Vシステムを採用しているBENLY e: に対して約2.4kgの軽量化を実現しています。その他にもジャンクションボックスやコンタクターなど、システム全体で軽量化・小型化を実現しています。

●Honda SMART Keyシステム

ポケットやカバンからキーを取り出さなくても、スイッチのON/OFF、ハンドルロックの施錠/解錠、シートの解錠操作が可能なHonda SMART Keyシステムを装備しています。スマートキーのボタン操作に応じ、車両のウインカーを点滅させて自車の位置を知らせるアンサーバック機能やイモビライザー（電子照合）機能も搭載しています。

■Honda SMART Keyシステム



●シート下収納スペース

レインウェアなどの小物を収納可能なスペースを装備しています。

■シート下収納スペース



●インナーボックス

フロント左側に、スマートフォンなどを収納可能なカバー付きインナーボックスを装備しました。カバーの開閉はプッシュ式とし、利便性を確保しながらスマートなシルエットとしています。

■インナーボックス



●USB Type-Cソケット

フロントインナーポケット内にUSB Type-Cソケットを装備*しました。ポケット内に収納したスマートフォンなど、さまざまな機器の充電を可能としています。

※5V3.0Aまで

■USB Type-Cソケット



●リアキャリア

荷物の積載に便利なリアキャリアを標準装備しています。

※最大積載量3.0kg

■リアキャリア



●フック

ハンドル下側に買い物袋などをさっと掛けられて便利なフックを装備しています。

※最大積載量1.5kg

■フック



主要諸元

CUV e:

CUV e: 主要諸元		CUV e:
車名・型式		ホンダ・ZAD-EF18
全長 (mm)		1,970
全幅 (mm)		675
全高 (mm)		1,100
軸距 (mm)		1,310
最低地上高 (mm) *		145
シート高 (mm) *		766
車両重量 (kg)		120
乗車定員 (人)		2
最小回転半径 (m)		2.0
原動機型式		EF18M
原動機種類		交流同期電動機
定格出力 (kW)		0.98*1
最高出力 (kW [PS] /rpm)		6.0[8.2]/3,500
最大トルク (N・m [kgf・m] /rpm)		22[2.2]/2,300
一充電走行距離*2 (km) 国土交通省届出値		57 (60km/h定地走行テスト値) 〈1名乗車時〉
タイヤ	前	100/90-12 59J
	後	110/90-12 64J
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	機械式リーディング・トレーリング
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	ユニットスイング式
フレーム形式		アンダーボーン
動力用バッテリー		Honda Mobile Power Pack e: (2個)

Honda Mobile Power Pack e:

バッテリー種類	リチウムイオン電池
バッテリー電圧/容量 (V/Ah*)	50.26/26.1

■道路運送車両法による型式認定申請書数値 (★の項目はHonda公表諸元)

■製造事業者/Thai Honda Co., Ltd. ■製造国/タイ ■輸入事業者/本田技研工業株式会社

*1 道路運送車両法上の第二種原動機付自転車に分類

*2 一充電走行距離は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法、車両状態 (装備、仕様) や整備状態などの諸条件により異なります。

*2 一充電走行距離は、車速一定で走行した実測にもとづいた値です。

■走行にはHonda Mobile Power Pack e: が2個必要です。

■充電を行う際は、2個同時充電を推奨します。

※本仕様は予告なく変更する場合があります。 ※写真は撮影・印刷条件等により、実際の色と多少異なる場合があります。

※CUV e:、Honda Mobile Power Pack e:、Honda RoadSync Duo、Honda Smart Key Systemは本田技研工業株式会社の登録商標です。